

平成29年11月20日

茂原市教育委員会教育長 内田 達也 様

茂原市学校再編審議会
会長 中山 清志

茂原市立小中学校の再編に関する具体的な方策（実施計画に関すること）について
（答申）

平成29年5月18日付け茂教総第34号で諮問のあった標記の件について、下記のとおり答申いたします。

記

1. 主旨

全国的に進行している少子化により、本市でも児童生徒数の減少や学校の小規模化が進む中、子どもたちの教育環境を最優先に考えて審議した結果として、小中学校の具体的な再編方法について答申するものです。

なお、審議にあたっては、先般教育委員会が定めた「茂原市立小中学校の適正規模」、「茂原市学校再編基本計画」を踏まえ、学校視察や住民意見交換会、PTA意見交換会などを数か月にわたり実施しながら慎重に討議を行い、この答申に至りました。

2. 具体的な学校再編案について

優先的に実施すべき学校再編については、以下のとおりです。

(1) 本納小学校、新治小学校及び豊岡小学校の3校を速やかに統合する。校舎は新設する。

【要望事項等】

- ・統合までの間についても、新治小学校の小規模学級に対する方策を検討すること。
- ・新校舎の建設場所については、本納中学校付近での建設など、利便性や安全性等を十分考え選定すること。
- ・学区が非常に広範囲となるため、スクールバス等の通学手段を必ず整備すること。
- ・通学の安全を確保するため、新たに通学路となる箇所を整備に努めること。

(2) 二宮小学校と緑ヶ丘小学校を統合し、校舎は緑ヶ丘小学校を使用する。

【要望事項等】

- ・校名、校歌、校章等については、双方の住民の意見に配慮しながら決定すること。
- ・一部地区の通学距離が長くなることについて、該当する地域住民の意見を聴きながら、原則としてスクールバス等の通学手段を整備する方向で検討すること。
- ・通学の安全を確保するため、新たに通学路となる箇所を整備に努めること。

3. その他

(1) 早野中学校について

- ・早野中学校は適正規模を満たしておらず、また五郷小学校と一小一中の状態であることから、今後も通学区域の見直しを含め、当中学校のあり方を検討する。

(2) それ以外の小中学校について

- ・今後の人口推移を注視しつつ、推計の見直しを含め、統廃合等の必要性を検討する。